

「ムギ畑」の意義

- 市民社会の育成に貢献
- 「ムギ畑」は公共性を持つ集合財
- 集合財:
 - (1)メンバーが全員便益を享受できる。ここで便益とは具体的には子育て、仕事との両立に関する情報交換、情緒的支援の交換。
 - (2)フリーライダー問題の解決が重要(特に小規模の時)。
- 「ムギ畑」は集合財であるとともに、正の外部性(ポジティブ・イクスターナリティー)を生み出した。具体的には社会におけるワークイング・マザーのポジティブ・イメージ)

勝間語録 in 『猪口さん、なぜ少子化が問題なのですか？』

- 少子化対策を、社会、特に企業、の「リデザイン」として広く考える視点の強調。
- 「(トヨタのカンバン方式など)、どうやったら製造業の生産性改善ができるとかということについて、研究している人はたくさんいます。それに対して、働く女性の生産性改善とか、働く女性のいる職場での生産性改善などについてまじめに研究している企業はありません。」
- 「(CSRは)女性活用とか子育て支援という話でなく、多様性(ダイバーシティ)の話だと思うのです。男性も含めて、多様な働き方をする人たちをサポートして行くべきだと思います。」

WLB関連分析結果

- 山口のOECD諸国分析、WLBは女性の就業率が上がっても、少子化が起こらない状況を作る。両立支援も大切だが、(性別にかかわらず)柔軟に働ける職場・雇用環境がもっと大切。山口:『経済産業ジャーナル』2006年4月号。
- 山口の日本の分析:少子化の第1の障害は企業のWLB施策の取り組みの遅れ、2子目を生むことの最大の障害は夫の協力が得られないなどからくる否定的育児体験、3子目以後の障害は経済問題。山口『季刊家計経済研究』66。2005年4月号。
- 阿部正弘氏の日本企業分析(山口の解釈)。WLBを福利厚生でなく、人材活用的手段として推進する企業では、男女の賃金格差が少ない。山口・樋口(共編)『論争 日本のワーク・ライフ・バランス』

勝間式13字の 「生産性の高い社会のコツ」 と時間管理によるワーク・ライフ・バランス

- 13字とは、1. 浪費をしない、2. 投資を惜しまない。
- 勝間式『年収10倍アップ時間投資法』における「時間投資マトリックス」
- 重要度の高低の2分と緊急度の高低の2分の組み合わせによる時間使用の分類。
- ネガティブリスト方式。時間の「浪費」と「空費」である「時間泥棒」を見つけ、それを排除せよ。

時間投資マトリックスー続き

- 重要度一高、緊急度一高： 消費
仕事のうちあわせ、営業、プロジェクトの実行。
- 重要度一高、緊急度一低： 投資
学習、スポーツ、家族の団らん
- 重要度一低、緊急度一高： 浪費
通勤時間、無駄な会議、今日のドラマ、飲み会
- 重要度一低、緊急度一低： 空費
喫煙・飲酒、暇つぶし、無駄話・チャットメール

時間投資の社会科学

—山口による勝間理論補足

- 理論仮説1:「消費時間の質」と「空費」の時間は強く負に相関する。

理由:主として双曲割引(中毒・依存)型時間使用が「空費」を生むため。双曲割引型とは「義務はあと回しに、楽しみは前倒し」にする傾向を言う。

- 理論仮説2:「浪費時間」と「投資時間」は強く負に相関する。

理由:浪費時間は時間拘束性(勝間氏のいう「緊急性」)が強く、同じく時間拘束性の強い「消費時間」には振り向けにくく、時間拘束性の少ない「投資時間」に振り向けやすい。

- 時間の投資を増やすには時間の浪費を減らせ。時間の消費の質を高めるには、時間の空費を減らせ。